【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和7年3月6日(2025.3.6)

【国際公開番号】WO2024/202505
【出願番号】特願2024-560610(P2024-560610)
【国際特許分類】
Ａ４１Ｇ　3/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｇ　3/00　　Ｊ
Ａ４１Ｇ　3/00　　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月11日(2024.10.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
頭部における地肌側に配置される裏面及び当該裏面の反対側に配置される表面を有するウィッグベースと、
前記ウィッグベースの前記表面に設けられる擬毛の集まりである擬毛群と、
前記ウィッグベースの前記裏面に設けられて前記地肌に生える地毛を捕捉するウィッグベース保持部と、
を備える部分ウィッグであって、
前記ウィッグベースは、
前記部分ウィッグが装着された際に当該ウィッグベースの長手方向が前記頭部の分け目に沿ってのびる形状に形成され、
前記擬毛群は、前記ウィッグベースの前記表面の前記長手方向の第１端部側に設けられる第１の長さの擬毛の集まりと、当該第１端部の反対側の第２端部側に設けられる前記第１の長さよりも長い第２の長さの擬毛の集まりと、を有して、当該第１の長さの擬毛の集まり及び当該第２の長さの擬毛の集まりのうちのいずれか一方の一部が前髪の一部になり、
前記ウィッグベース保持部は、
前記地肌に向けた押圧力により前記地毛が絡みつく形状に形成されている、
部分ウィッグ。
【請求項２】
前記ウィッグベース及び前記ウィッグベース保持部は、夫々、外形が帯状に形成されている、
請求項１に記載の部分ウィッグ。
【請求項３】
前記ウィッグベース及び前記ウィッグベース保持部は、夫々の一端同士が前記長手方向にズレた状態に配設することが可能に形成されている、
請求項２に記載の部分ウィッグ。
【請求項４】
前記ウィッグベース保持部は、前記ウィッグベースに対向する第１面及び当該第１面の反対側に配置される第２面を有するウィッグベース対向部と、当該第２面から突出する突起の集まりであり前記地毛が絡みつく突起群と、を有する、

請求項１に記載の部分ウィッグ。
【請求項５】
前記突起群における夫々の前記突起の先端は、当該突起の幅よりも大きな直径の球状に形成されている、
請求項４に記載の部分ウィッグ。
【請求項６】
前記ウィッグベース保持部の前記第１面は、前記ウィッグベースの前記裏面に対して着脱自在に取り付けられている、
請求項４に記載の部分ウィッグ。
【請求項７】
前記擬毛群は、前記分け目の位置に合わせて少なくとも配設される短擬毛と、当該短擬毛よりも長い長擬毛と、を含んで構成されている、
請求項１に記載の部分ウィッグ。
【請求項８】
前記ウィッグベースの前記表面はメッシュ構造であり、
当該表面は、前記地肌に合わせた色を有し、
前記裏面は、前記表面に比較して暗い色を有する、
請求項１に記載の部分ウィッグ。
【請求項９】
前記ウィッグベースの前記表面の前記長手方向の第１端部側の形状と、当該第１端部の反対側の第２端部側の形状とは異なっている、
請求項１に記載の部分ウィッグ。